

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報21

平成24年度

2013年3月

島根県教育委員会



1. 庵寺古墳群 22号墳主体部



2. 大迫ツリ遺跡 1号採掘坑

目 次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
I 平成 24 年度の体制	2
1. 組 織	2
2. 職員一覧	2
II 埋蔵文化財活用事業	3
1. 埋蔵文化財調査センター講演会	3
2. 現地説明	3
3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』	3
(1)いにしえ倶楽部	
(2)いにしえ倶楽部連続講座	
4. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	4
5. 心に残る文化財子ども塾	5
6. 平成 24 年度 教員のための文化財活用講座	6
7. 埋蔵文化財調査センター見学案内	6
8. 職員の講師派遣	6
9. その他	7
10. 資料の貸出・調査等	8
(1)資料調査	
(2)写真資料等	
(3)資料貸出	
(4)その他	
(5)施設利用	
(6)埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数	
III 研究事業	13
IV 研修・調査指導事業	13
1. 埋蔵文化財基礎研修	13
2. 埋蔵文化財専門研修	13
3. 市町村調査指導	15
V 会議参加	15
VI 発掘調査事業	16
1. 一般国道 9 号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査	17
2. 一般国道 9 号（仁摩温泉津道路）改築工事に伴う発掘調査	19
3. 大橋川改修に伴う発掘調査	21
4. 国道 432 号道路（大庭バイパス）改築工事に伴う発掘調査	22
5. 学術調査等	23
(1)考古資料基礎調査研究（墓制調査事業）	
(2)考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）	

(3)保存処理・理化学分析

(4)試掘確認調査・分布調査

VII 県内発掘調査一覧	27
VIII 刊 行 物 等	31
1. 年報	31
2. ドキ土器まいぶん	31
3. 発掘調査報告書	31
4. 発掘調査パンフレット	32
5. 発掘だより	32

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝出雲大社本殿、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4年）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日 平成4年4月1日

所在地 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地 TEL 0852-36-8608 FAX 0852-36-8025

Eメールアドレス maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡	
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡	
本館棟	所長室	25㎡	いにしえ学習館棟	小計		1,620㎡
	事務室・調査研究室	315㎡		体験学習室	95㎡	
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡	
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡	
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼写場）	86㎡	
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡	
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡	
	理化学分析室	35㎡		小計		3,696㎡
	鉄器処理室	35㎡		合計		7,835㎡
	木器処理室	35㎡				
水洗室	70㎡					
その他	942㎡					
小計		2,519㎡				

I 平成 24 年度の調査体制

1. 組 織

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

所長	総務 G 課長 — 総務 G 管理 G 課長 — 管理 G 調査第 1 G 課長 — 調査第 1 G 調査第 2 G 課長 — 調査第 2 G 調査第 3 G 課長 — 調査第 3 G	予算経理・契約事務・施設管理 調査事業の調整・発掘調査の技術的統括・発掘調査の安全管理・試掘確認調査・分布調査・普及活用・資料管理・研修・講演会・年報等発刊 調査事業（国道 432 号（大庭バイパス）改築事業、中国横断道松江尾道線建設事業、松江島根線改良事業） 調査事業（国道 9 号（朝山大田道路・多伎朝山道路・仁摩温泉津道路）改築事業） 調査事業（大橋川改修事業、国道 431 号（東林木バイパス）改築事業、風土記の丘地内発掘調査事業） 研究事業の総括
----	--	---

2. 職 員 一 覧

職 名	氏 名
所 長	廣 江 耕 史
総務グループ	
総務 G 課長	三 島 伸
主幹	城 市 純 子
嘱託	加 藤 ひ と み
事務補助員	濱 田 佐 知 子
	吉 岡 順 子
管 理 グ ル ー プ	
管理 G 課長	熱 田 貴 保
企画員	守 岡 利 栄
文化財保護主任	中 川 寧 <small>(10月から宮城県派遣)</small>
(兼)学芸員	東 森 晋
調査補助員	澤 田 正 明
	上 山 晶 子
調査第 1 グループ	
調査第 1 G 課長	大 庭 俊 次
企画員	宮 本 正 保
調査補助員	原 田 敏 照
	田 中 玲 子
	井 谷 朋 子
	阿 部 賢 治
	岩 本 真 実
	三 原 知 恵

職 名	氏 名
調査第 2 グループ	
調査第 2 G 課長	林 健 亮
企画員	深 田 浩
(兼)文化財保護主任	是 田 敦
	山 根 伸 一
	武 田 尚 志
嘱託	内 田 律 雄
調査補助員	糸 川 寿 幸
	福 田 市 子
	松 山 智 弘
	無 川 美 和 子
	渡 辺 聡
調査第 3 グループ	
調査第 3 G 課長	池 淵 俊 一
企画員	勝 部 智 明
文化財保護主任	伊 藤 智
主任主事	稲 田 陽 介
嘱託	川 原 和 人
調査補助員	福 田 沙 織
	飯 塚 由 起
	坂 根 健 悦
	人 見 麻 生

Ⅱ 埋蔵文化財活用事業

島根県教育庁埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

1. 埋蔵文化財調査センター講演会

埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に1度開催している。今年度は埋蔵文化財調査センターと島根県古代文化センターが開設20周年を迎えたことを記念し、両センターの最新の共同研究の成果をもとに行った。

島根県埋蔵文化財調査センター・島根県古代文化センター開設20周年記念講演会

テーマ：「石屋古墳とその時代-出雲の神話伝承と古墳、埴輪-」

日時：平成24年12月8日(土) 13:30～17:25

会場：松江市市民活動センター交流ホール(松江市白潟本町 STICK ビル)

参加者：130名

- ・報告1「石屋古墳の発掘調査」岡崎雄二郎(元松江市教育委員会参事)
- ・報告2「平所窯跡の発掘調査」松本岩雄(島根県教育庁文化財専門官)
- ・報告3「出雲の形象埴輪の復元」椿 真治(島根県教育庁文化財課調整監)
- ・講演「埴輪は語る古代出雲-石屋古墳形象埴輪からの問題提起-」
高橋克壽(花園大学文学部教授)
- ・パネルディスカッション「石屋古墳と五世紀の意宇の勢力-神話伝承を古墳と埴輪から探る-」
コーディネーター 丹羽野 裕(島根県古代文化センター長)
パネラー 岡崎雄二郎、松本岩雄、椿 真治、高橋克壽、池淵俊一(島根県埋蔵文化財調査センター第3G課長)

2. 現地説明会

発掘調査の成果を地元へ公開する。(※平成24年1月4日～12月28日までに実施したもの)

遺跡名	開催日	場所	参加者	備考
魚見塚古墳	平成24年7月30日	松江市朝酌町	60名	
東淵寺古墳	平成24年11月17日	松江市大庭町	40名	
庵寺古墳群	平成24年11月17日	大田市仁摩町	50名	
	平成24年11月24日	〃	25名	大国まちづくりセンター主催
合計				約175名

3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、埋蔵文化財調査センターで保管している出土品などを活用して開催する講座。今年度は、主に親子を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「第58～60回いにしえ倶楽部」を夏季に行い、また、昨年度から実施している歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式の講座を「連続講座」として開催した。

(1)いにしえ倶楽部

	会 場	内 容	参加者	実施日	備 考
第58回いにしえ倶楽部『夏休み！みんなで発掘体験！』	大田市波根町 高原遺跡発掘現場	親子等での遺跡の発掘体験	29名	7月29日	定員30名
第59回いにしえ倶楽部『納涼！黄泉の国探検～夜の横穴式石室見学～』	松江市大庭町 八雲立つ風土記の丘	黄泉の国神話を学び夜の横穴式石室を、きもだめし風に見学	31名	8月5日	定員30名
第60回いにしえ倶楽部『進め！まいせん探検隊～土笛づくり～』	松江市打出町 島根県埋蔵文化財調査センター	土笛作りと埋文センター探検	56名	8月19日	
合 計			約116名		

(2)いにしえ倶楽部 連続講座

※平成24年1月4日～平成25年1月末までの実施分

実施日	タイトル	講師	参加人数
1月15日	古代幹線道路の移動と出雲東部の古墳	丹羽野 裕	60名
2月19日	出雲における律令時代の特色とその背景	川原 和人	42名
3月18日	考古学の成果から学ぶべきもの	川原 和人	51人
6月17日	島根県の中世遺跡について	廣江 耕史	51名
9月9日	山陰の木製品	中川 寧	29名
11月18日	意宇宿禰と出雲 - 古墳時代中期の意宇平野 -	池淵 俊一	80名
1月20日	ここまでわかった！山代郷北新造院の屋根	林 健亮	54名
合 計			約367名

4. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

埋蔵文化財調査センターが保管している土器や石器を学校等へ貸し出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材として活用している。今年度は、11校へ延べ32セット貸し出しがあった。

平成24年度 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

貸出セット名(セット番号)	申請校	使用目的	貸出期間
1 縄文狩猟セットA (1) 弥生稲作セットA (15)	松江市立古志原小学校	6学年社会科学習教材とするため	4月23日～5月10日
2 縄文狩猟セットB (2)	雲南市立海潮小学校	6学年社会科学習教材とするため	4月20日～4月27日
3 縄文土器セットB (7) 弥生食卓セットA (12)	島根県立松江清心養護学校	高等部第2・3学年の日本史学習教材	5月7日～5月11日
4 縄文狩猟セットC (3) 縄文土器セットC (8) 弥生食卓セットA (12) 弥生稲作セットB (16)	安来市立比田小学校	6学年社会科学習教材とするため	4月23日～4月27日
5 縄文狩猟セットC (3) 縄文採集セットA (4) 縄文土器セットA (6) 弥生食卓セットB (13) 弥生食卓セットB (16)	益田市立都茂小学校	5・6学年社会科学習教材とするため	5月1日～5月2日
6 縄文採集セットB (5)	飯南町赤名小学校	6学年社会科学習教材とするため	4月24日～4月25日
7 縄文狩猟セットA (1) 弥生食卓セットA (12) 弥生稲作セットA (15)	安来市立母里小学校	6学年社会科学習教材とするため	5月14日～5月18日
8 縄文土器セットA (6) 弥生食卓セットA (12)	益田市立吉田小学校	6学年社会科学習教材とするため	6月18日～6月22日
9 縄文狩猟セットA (1) 縄文土器セットA (6) 縄文土器セットD (9) 弥生食卓セットA (12) 弥生稲作セットA (15)	松江市立揖屋小学校	6学年社会科学習教材とするため	6月13日～6月17日
10 弥生食卓セットA (12) 弥生稲作セットA (15)	島根大学教育学部附属中学校	オープンスクールにて大昔をイメージする際の教材として	8月21日～8月24日
11 縄文狩猟セットA (1) 縄文土器セットA (6) 弥生食卓セットA (12) 火おこしセット 5台	島根県立石見養護学校	神話博見学に関連し、古代の生活の学習教材とするため。	9月18日～10月1日
合計	11校32セット		

※職員による子どもも塾等での利用は含まない。

5. 心に残る文化財こども塾

県内の小中学校の児童生徒を対象に、身近な地域の埋蔵文化財を活用し、古代体験活動を盛り込んだ教育活動を行った。

	学校名	学年	人数	実施日	テーマ・主題	体験活動内容
1	安来市立井尻小学校	5,6	15	5月9日	古代出雲の歴史を探ろう～弥生時代と青銅器～	プラ鐸づくり
2	隠岐の島町立磯小学校	6	14	5月10日	火おこし・勾玉作りをとおして古代の生活・文化・知恵にふれる	火おこし・勾玉づくり
3	隠岐の島町立五箇小学校	6	22	5月11日	地域の遺跡・古代人の生活について	勾玉づくり・火おこし
4	邑南町立日貫小学校	5,6	9	5月15日	古代の邑南町の歴史について	勾玉作り
5	江津市立江津東小学校	6	21	5月17日	古代人の生活を体験しよう～古代食作りを通して～	古代食づくり
6	津和野町立左鎧小学校	5	3	5月24日		勾玉づくり、火おこし
7	雲南市立佐世小学校	6	12	5月25日	古代出雲・雲南、佐世のヒミツを探ろう	古代食づくり
8	松江市立古志原小学校	6	119	5月25日	銅鐸に秘められた古代人の知恵と技術	銅鐸に秘められた古代人の知恵と技術
9	大田市立五十猛小学校	5,6	12	5月30日	ふるさとの歴史を知ろう	土器作り
10	大田市立大田小学校	6	100	6月1日	身近な遺跡を知ろう	発掘体験
11	大田市立北三瓶小学校	6	6	6月7日	古代の歴史を体験しよう～島根の縄文時代と火おこし体験～	火起こし体験
12	出雲市立神戸川小学校	6	100	6月7日	奈良時代の出雲と奈良の大仏	大仏パネル
13	安来市立赤屋小学校	5,6	14	6月12日	故郷の歴史や古代の人々の生活にふれてみよう	勾玉作り・古代衣装体験
14	出雲市立鶺鴒小学校	5,6	2	6月12日	ふるさと大社町の歴史を学ぼう	埴輪作り・プラ鐸作り
15	松江市立秋鹿小学校	6	12	6月15日	古代の秋鹿周辺の歴史を学ぼう！	埴輪作り・土器作り
16	安来市立荒島小学校	6	47	6月15日	ふるさとの歴史を知ろう 荒島の古墳めぐり	古墳見学
17	浜田市立原井小学校	6	30	6月26日	ふるさと浜田の歴史にふれよう	勾玉づくり
18	安来市立第三中学校	1	56	6月29日	安来市内の古墳	古墳見学
19	雲南市立大東小学校	6	51	7月3日	大東町周辺の遺跡紹介と古代の土器作り	土器づくり
20	出雲市立高松小学校	6	112	7月4日	ふるさと島根や出雲の古代の歴史にふれよう	はにわ作り
21	益田市立二川小学校	全校	5	7月6日	土器を作っていた頃の二川(益田)の様子	土器作り体験
22	奥出雲町立三沢小学校	5,6	8	7月9日	三沢氏の歴史について	遺跡見学
23	浜田市旭町小学校連合 今市小 木田小 和田小 市木小	5,6	41 (25) (5) (5) (6)	9月11日	浜田の歴史散歩と古代体験活動 旭町を中心とした浜田地方の歴史	勾玉づくり
24	益田市立都茂小学校	5,6	20	9月27日	都茂地区(美都地区)の歴史について 三谷古墳、都茂鉾山、丸茂城、宇津川城など	勾玉づくり
25	飯南町立頓原中学校	1,2	32	9月28日	身近な地域の歴史～飯南町の歴史にふれよう～	プラ鐸作り
26	雲南市立木次小学校	6	32	11月27日	加茂岩倉遺跡・荒神谷遺跡見学	プラ鐸作り・遺跡見学
27	島根県立出雲養護学校 (みらい分教室)	小4～ 中3	9	10月25日	神話と古代出雲	勾玉作り

6. 平成 24 年度 教員のための文化財活用講座

県内の小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため、地域の文化財や郷土の歴史資料などを活用した学習活動についての研修を開催した。

開催日：平成 24 年 8 月 17 日（金）9：00～16：30

主 催：島根県埋蔵文化財調査センター

協 力：石見銀山世界遺産センター・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立八雲立つ風土記の丘

会 場：島根県埋蔵文化財調査センター・古墳の丘古曾志公園

参加者：10 名

内 容：「埋文センター見学と古墳の丘古曾志公園見学・説明」

「埋文センターが行う学校での歴史学習支援についての説明」

「石見銀山世界遺産センター・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立八雲立つ風土記の丘が行う教育活動支援の説明と体験活動の実習（大仏パネル・プラ鐸づくり・和同開珎・銀の選鉱体験）」

「意見交換」

7. 埋蔵文化財調査センター見学

展示室や整理作業を見学する。※平成 24 年 1 月 4 日～12 月 28 日までに申請があったもの。

月 日	見 学 者 (団体)	時間	人数	見学	体験
4 月 25 日	島根大学考古学研究室	60 分	10 名	○	
5 月 2 日	出雲市立北浜小学校 5・6 年生	60 分	16 名	○	
8 月 28 日	シマネスクくにびき学園東部校社会文化科	60 分	34 名	○	
10 月 11 日	高知大学人文学部考古学研究室	60 分	12 名	○	○
10 月 12 日	附属小学校校外教育活動	200 分	28 名	○	○
11 月 17 日	城北子ども会	120 分	16 名	○	○
1 月 13 日	コレージュドしまね	60 分	34 名	○	
合 計				150 名	

8. 職員の講師派遣（※平成 24 年 1 月 4 日～平成 25 年 1 月 4 日までに申請があったもの）

月 日	内 容	場 所	依 頼 者	講 師
5 月 12 日	出雲の前期古墳の様相 ～寺床 1 号墳～	八雲立つ風土記の丘 (松江市)	八雲立つ風土記の丘	川原和人
6 月 1 日	古代の食について	パルメイト出雲 (出雲市)	島根県高等学校文化 連盟	川原和人
6 月 16 日	西川津遺跡の発掘調査	とりぎん文化会館 (鳥取市)	鳥取県埋蔵文化財セ ンター	原田敏照
7 月 5 日	古代体験活動への指導	松江市立内中原小学校 (松江市)	松江市立内中原小学 校 (6 年生親子会)	中川 寧 守岡利栄
7 月 6 日	古代体験学習の指導	安来市立母里小学校 (安来市)	安来市立母里小学校 (6 年生)	宮本正保 守岡利栄

月 日	内 容	場 所	依 頼 者	講 師
7月10日	古代学習への指導	雲南市立大東小学校 (雲南市)	雲南市立大東小学校 (6年生)	稲田陽介
9月25日	青木遺跡、山持遺跡から見る古代の暮らし	鳶巣コミュニティーセンター (出雲市)	鳶巣自治協議会歴史 研修会	池淵俊一
9月29日	勾玉作り体験の指導	雲南市立大東小学校 (雲南市)	雲南市立大東小学校 (4年生親子会)	守岡利栄
10月5日	古代体験学習への指導	安来市立母里小学校 (安来市)	安来市立母里小学校 (保護者主催)	守岡利栄
11月10日	親子古代体験活動	松江市立古志原小学校 (松江市)	古志原小学校保護者 会3学年部	守岡利栄
12月15日	分銅形土製品のこと～ 弥生時代の光と影	荒神谷博物館 (出雲市)	荒神谷博物館	内田律雄
2月16日	出雲の古墳時代の始まり	荒神谷博物館 (出雲市)	荒神谷博物館	松山智弘
3月16日	東淵寺古墳の最新調査 成果と遺物見学	八雲立つ風土記の丘 (松江市)	八雲立つ風土記の丘	池淵俊一

9. その他

- ①サンレイクフェスティバル 2012 への参加 (主催：鳥根県立青少年の家ほか)

期日：平成 24 年 10 月 21 日 9：30～16：00

会場：鳥根県立青少年の家「サン・レイク」

内容：勾玉作り体験ブース (約 200 個)

- ②「授産センターよつばふれあいフェスティバル」への参加 (主催：授産センターよつばほか)

期日：平成 24 年 10 月 27 日 (土) 9：00～15：00

会場：授産センターよつば

内容：勾玉作り体験ブース (約 100 個)

- ③「古墳の丘古曾志公園・古墳ウォーキング」への協力 (主催：指定管理者株式会社 MI しまね)

期日：平成 24 年 5 月 19 日 (土) 9：00～12：00

会場：埋文センター・古墳の丘古曾志公園等

内容：埋文センター見学、古墳公園～丹花庵古墳～許曾志神社等ウォーキング (16 人参加)

- ④「古墳の丘古曾志公園・夏休み子ども工作教室」への協力 (主催：指定管理者株式会社 MI しまね)

期日：平成 24 年 7 月 28 日 (土) 9：30～12：00

会場：古墳の丘古曾志公園野外ステージ

内容：埴輪作り・勾玉作り (9 人参加)

- ⑤「古墳の丘古曾志公園・古代音楽祭」への協力 (主催：指定管理者株式会社 MI しまね)

期日：平成 24 年 9 月 2 日 (日) 10：00～16：00

会場：古墳の丘古曾志公園野外ステージ等

内容：埴輪作り・勾玉作りブース (音楽祭 260 人参加)

10. 資料の貸出・調査等

- (1) 資料調査（※平成24年1月4日から平成24年12月28日までに申請があったもの）
研究や展示借用のための事前調査など、資料の実見に関して応じている。

資 料	点数	申 請 者	月 日
サルガ鼻遺跡石器	1	古代文化センター研究職員	1月19日～3月30日
タテチョウ遺跡土笛ほか	19	荒神谷博物館学芸員	1月25日
三田谷Ⅰ遺跡土師器ほか	47	出雲市文化財課職員	1月27日
岩屋遺跡平玉ほか	93	古代出雲歴史博物館学芸員	2月6日～7日
サルガ鼻遺跡縄文土器ほか	41	古代文化センター研究職員	2月9日
古曾志平迫田遺跡須恵器ほか	378	鳥取県埋蔵文化財センター職員	3月19日
原田遺跡石器ほか	49	古代文化センター研究職員	3月28日～29日
林原遺跡縄文土器ほか	7	古代文化センター研究職員	4月10日～5月11日
布田遺跡土器ほか	73	岐阜県在住研究者	4月16日
沖手遺跡丸木舟ほか	36	古代出雲歴史博物館学芸員	4月16日～18日
西川津遺跡アカニシ貝	16	岡山市埋蔵文化財センター職員	4月27日
西川津遺跡木製品	10	島根大学学生	5月15日～11月30日
沖手遺跡瓦質土器ほか	33	鳥取県埋蔵文化財センター職員	5月16日
富田川河床遺跡陶磁器	一括	島根県文化財課職員	5月16日
西川津遺跡木製品ほか	24	大阪府立弥生文化博物館職員	5月30日
姫原西遺跡木製品	1	出雲玉作資料館館長	6月3日
板谷Ⅲ遺跡羽口ほか	108	国立歴史民俗博物館職員	6月4日
川平Ⅰ遺跡石器ほか	92	古代文化センター研究職員	6月7日～9日
北原本郷遺跡弥生土器	81	(財)鳥取県教育文化財団調査室職員	6月8日
西川津遺跡縄文土器	47	古代文化センター研究職員	6月8日～9日
五丁遺跡弥生土器	46	古代文化センター研究職員	6月8日～9日
タテチョウ遺跡木製卒塔婆ほか	28	(財)元興寺文化財研究所職員	6月11日
吉佐山根1号墳環状鉄製品ほか	6	荒神谷博物館学芸員	6月11日
富田川河床遺跡陶磁器	一括	古代出雲博物館研究員	6月15日
原田遺跡旧石器ほか	221	広島県立歴史民俗資料館館長	6月18日
原田遺跡石器ほか	11	(株)山陰中央新報社社員	6月18日
垣ノ内遺跡鋳造鉄斧ほか	4	鳥取県埋蔵文化財センター所長	6月19日
徳見津遺跡鉄床石ほか	9	古代出雲博物館学芸員	6月25日
山持遺跡弥生土器ほか	32	荒神谷博物館館長	7月10日
西川津遺跡骨角器ほか	31	朝来市埋蔵文化財センター職員	7月12日
社日古墳出土石器ほか	29	島根大学学生	7月23日～24日
原田遺跡縄文土器ほか	65	古代文化センター研究職員	8月17日～19日
古志本郷遺跡土師器ほか	209	出雲市長	8月20日
富田川河床遺跡陶磁器	39	古代出雲博物館研究員	8月23日
西川津遺跡アカニシ貝	16	岡山市埋蔵文化財センター職員	8月24日

資 料	点数	申 請 者	月 日
三田谷Ⅰ遺跡出土縄文土器	636	明治大学客員研究員	8月24日
上野1号墳埴輪ほか	多数	御所市教育委員会職員	9月3日～4日
タテチョウ遺跡木製品ほか	27	古代出雲博物館学芸員	9月13日
西川津遺跡アカニシ貝ほか	22	広島大学学生	9月14日
出雲国府跡須恵器ほか	20	島根大学学生	9月18日～21日
山持遺跡弥生土器ほか	29	国立歴史民俗博物館名誉教授	9月20日
堂床遺跡玉類未成品ほか	112	東北芸術工科大学准教授	9月24日～25日
原田遺跡旧石器	22	広島大学学生	9月24日～28日
原田遺跡旧石器ほか	867	広島大学総合博物館教授	10月3日
原田遺跡旧石器	8	広島大学学生	10月9日～11日
ラント遺跡石器ほか	多数	島根大学学生	10月15日～19日
北原本郷遺跡石器ほか	多数	島根大学学生	10月29日～30日
岡田薬師古墳須恵器ほか	99	島根大学学生	11月5日～9日
塚山古墳埴輪ほか	306	島根大学准教授	11月8日～29日
青木遺跡出土木簡ほか	37	大阪大学大学院准教授	11月12日
三田谷Ⅰ遺跡須恵器ほか	87	島根大学学生	11月12日～17日
富田川河床遺跡備前焼	13	筑波大学学生	11月13日
島田1号墳鉄器ほか	32	古代文化センター研究職員	11月17日～12月28日
西川津遺跡呪文土器ほか	106	古代文化センター研究職員	11月22日～25日
古曾志大谷1号墳須恵器ほか	48	愛媛大学学生	11月27日
古曾志大谷1号墳埴輪ほか	30	島根大学准教授	12月6日～13日
出雲国府跡須恵器ほか	31	島根大学学生	12月5日～7日
西川津遺跡アカニシ貝	18	広島大学学生	12月10日～14日
姫原西遺跡古墓切取ほか	129	出雲市長	12月12日
五反配遺跡木製品	1	古代出雲博物館学芸員	12月13日
タテチョウ遺跡出土木製品	2	花園大学学生	12月17日
一の谷古墳鉄器ほか	94	古代文化センター研究職員	12月18日
原田遺跡縄文土器ほか	87	古代文化センター研究職員	12月25日～平成25年1月11日
島田1号墳筒形器台	1	古代文化センター研究職員	12月25日～平成25年1月31日

- (2) 写真資料等（※平成24年1月4日から平成24年12月28日までに申請があったもの）
単行本や雑誌、展示図録などの写真の掲載に応じている。

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使 用 目 的	貸出期間
荒神谷遺跡銅剣及び銅鐸・銅矛	2	(株)山陰中央新報社	書籍掲載	1月25日
出雲国府跡墨書土器ほか	3	松江市教育委員会	書籍掲載	1月25日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	出雲の国ツーデーウォーク実行委員会	パンフレット掲載	1月25日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	九州大学総合研究博物館	書籍掲載	2月2日
青木遺跡Ⅳ区全景ほか	4	大阪府立近つ飛鳥博物館	特別展示	2月2日

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使 用 目 的	貸出期間
荒神谷遺跡青銅器出土状況ほか	2	(株)山陰放送	テレビ放映	2月7日
塩津山1号墳円筒器台形土器	1	(株)山陰中央新報社	情報誌掲載	2月7日
金山1号墳現地説明会資料	2	(株)ジャパン通信情報センター	雑誌掲載	2月7日
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	4	大阪府立弥生文化博物館	企画展示	2月15日
意宇平野空撮写真	1	松江市教育委員会	書籍掲載	2月15日
造山3号墳斜縁神獣鏡ほか	3	(株)山陰中央新報社	情報誌掲載	2月15日
出雲国府跡空撮写真ほか	6	上代編集企画	書籍掲載	2月23日
荒神谷遺跡銅矛・銅鐸出土状況ほか	2	長野県埋蔵文化財センター	報告書掲載	2月27日
原の前遺跡大地震の跡ほか	4	上代編集企画	書籍掲載	3月1日
青木遺跡木製品ほか	6	出雲弥生の森博物館	企画展示	3月1日
来美廃寺須弥壇平面図	1	美浜町教育委員会	シンポジウム資料	3月5日
西川津遺跡弥生時代の土坑ほか	4	上代編集企画	書籍掲載	3月7日
荒神谷遺跡青銅器出土状況ほか	9	(株)山陰放送	テレビ放映	3月8日
荒神谷遺跡銅剣ほか	4	(株)講談社	書籍掲載	3月21日
荒神谷遺跡銅矛・銅鐸出土状況	1	港区教育委員会事務局	書籍掲載	掲載許可
三田谷I遺跡丸木舟	1	(株)日本入試センター	学習教材	掲載許可
中地竹矢遺跡土鈴ほか	5	荒神谷博物館	特別展示	4月26日
福富I遺跡玉作工房跡ほか	3	個人	書籍掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅矛・銅鐸出土状況	1	(株)新潮社	書籍掲載	掲載許可
加茂岩倉遺跡銅鐸出土状況ほか	19	神戸市立博物館	特別展示	5月24日
青木遺跡木製品	1	(株)六一書房	書籍掲載	5月28日
石台遺跡出土土器ほか	1	個人	報告書掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅矛・銅鐸出土状況	1	東京書籍株式会社	書籍掲載	掲載許可
青木遺跡神像	1	少年社	書籍掲載	6月19日
高広遺跡石棺ほか	6	出雲弥生の森博物館	特別展示	6月22日
宮山4号墓	1	編集工房 遊	書籍掲載	6月25日
カンボウ遺跡弥生土器ほか	9	八雲立つ風土記の丘	企画展示	6月28日
山持遺跡木製品ほか	4	(財)大阪市博物館協会	ポスター掲載	掲載許可
官道下遺跡陶磁器	1	松江市	新聞広告掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	2	東京書籍株式会社	学習教材	7月12日
荒神谷遺跡銅剣	3	理数科高校課題研究発表大会事務局	大会資料	7月13日
原田遺跡礫群・石器ブロックほか	15	広島県立歴史民俗資料館	企画展示	7月27日
青木遺跡調査区全景	1	朝来市教育委員会	企画展示	7月27日
西川津遺跡ほか土笛	1	石狩市教育委員会	広報紙掲載	8月23日
荒神谷遺跡銅剣発掘状況	1	(株)山陰中央新報社	書籍掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣発掘調査映像ほか	2	松江歴史館	テレビ放映	8月2日
姫原西遺跡弓ほか	4	有限会社美笑企画	書籍掲載	8月10日
荒神谷遺跡出土銅剣ほか	2	出雲ケーブルテレビジョン	テレビ放映	放映許可

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使 用 目 的	貸出期間
西川津遺跡弥生土器	1	B S - T B S	テレビ放映	8月10日
越峠遺跡鍛造鉄斧ほか	14	鳥取県埋蔵文化財センター	フォーラム	8月17日
荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	青森県	書籍掲載	8月22日
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	5	(株)童心社	書籍掲載	8月27日
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	4	(株)新潮社	書籍掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	2	(株)山陰放送	テレビ放映	放映許可
富田川河床遺跡屋敷群ほか	5	古代出雲歴史博物館	企画展示	9月26日
沖手遺跡丸木舟	5	古代出雲歴史博物館	企画展示	9月28日
小三才谷遺跡遠景ほか	10	来待ストーン	常設展示	10月3日
庵寺古墳現地説明会資料ほか	3	(株)ジャパン通信情報センター	雑誌掲載	11月1日
社日2号墳珠文鏡実測図	1	個人	書籍掲載	掲載許可
原田遺跡遠景ほか	2	(財)広島県教育事業団	ポスター掲載	11月28日
上野1号墳棺	5	個人	報告書掲載	掲載許可

- (3) 資料貸出（※平成24年1月4日から平成24年12月28日までに申請があったもの）
所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使 用 目 的	貸出期間
塚山古墳力士埴輪ほか	2	古代出雲歴史博物館	速報展示ほか	2月6日～9月30日
荒神谷遺跡銅剣模鑄品ほか	7	古代出雲歴史博物館	企画展示	3月2日～5月31日
島田1号墳人物埴輪	1	古代出雲歴史博物館	速報展示ほか	3月21日～9月30日
史跡出雲国府跡石帯ほか	15	八雲立つ風土記の丘	速報展示	3月2日～5月18日
中野清水遺跡鉄製紡錘車ほか	240	出雲弥生の森博物館	企画展示	3月12日～5月21日
白コクリ遺跡環頭大刀ほか	25	和鋼博物館	特別展示	4月9日～5月31日
五反配遺跡鞘形木製品ほか	13	荒神谷博物館	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
大東高校グラウンド遺跡玉類ほか	43	松江市立出雲玉作資料館	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
今佐屋山遺跡出土砂鉄ほか	2	和鋼博物館	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
団原古墳土器ほか	618	八雲立つ風土記の丘	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
原田遺跡石器ほか	1552	古代出雲歴史博物館	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
板屋Ⅲ遺跡土器ほか	21	三瓶自然館	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
前立山遺跡土器ほか	233	吉賀町水源会館	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
古志本郷遺跡土器ほか	271	出雲弥生の森博物館	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
史跡石見銀山遺跡石銀藤田地区「土壁」復原模型	1	石見銀山世界遺産センター	常設展示	4月1日～平成25年3月31日
堂床遺跡玉類ほか	52	九州国立博物館	交流展示	5月1日～平成25年4月30日
山持遺跡板絵ほか	115	古代出雲歴史博物館	特別展示準備	3月27日～6月30日
サルガ鼻遺跡縄文土器ほか	163	八雲立つ風土記の丘	企画展示	4月25日～9月28日
西川津遺跡縄文土器ほか	120	古志原小学校	学習教材	4月20日～5月11日
タテチヨウ遺跡土笛ほか	24	荒神谷博物館	特別展示	6月25日～9月11日
青木遺跡神像ほか	185	京都国立博物館ほか	特別展示	7月1日～9月30日
高浜Ⅰ遺跡将棋盤ほか	3	出雲弥生の森博物館	イベント展示	7月20日～7月27日

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使 用 目 的	貸 出 期 間
高広遺跡環頭大刀ほか	3	出雲弥生の森博物館	特別展示	7月2日～10月8日
中野清水遺跡土師器ほか	7	赤穂市教育委員会	特別展示	7月2日～9月10日
タテチョウ遺跡木製品ほか	23	大阪府立弥生文化博物館	特別展示	7月23日～11月2日
中竹矢遺跡鉄器ほか	150	八雲立つ風土記の丘	企画展示	6月29日～平成25年3月29日
島田池遺跡大刀ほか	2	古代出雲歴史博物館	常設展示	6月21日～10月31日
西川津遺跡骨角器ほか	30	朝来市教育委員会	企画展示	8月1日～11月30日
原田遺跡縄文土器ほか	206	広島県立歴史民俗資料館	企画展示	9月14日～11月7日
富田川河床遺跡陶磁器	39	古代出雲歴史博物館	企画展示	10月3日～平成25年1月18日
山持遺跡弥生土器ほか	30	荒神谷博物館	企画展示	8月20日～10月30日
沖手遺跡丸木舟ほか	46	古代出雲歴史博物館	企画展示	11月19日～平成25年3月29日
出雲国分寺跡瓦ほか	多数	松江市教育委員会	報告書作成	11月1日～平成25年6月28日

職員への貸出 70件

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

資 料 名 (点数)	貸 出 先	使 用 目 的	貸 出 期 間
プロジェクター	島根考古学会	例会	3月10日
プロジェクター	島根考古学会	総会	6月16日
火起こし道具 (10)	広瀬小学校 PTA	P T A 活 動	8月2日～8月9日
テント	古曾志公園指定管理者	イ ベ ン ト	8月31日～9月3日
加茂岩倉銅鐸模鑄品ほか	東京事務所	デ ィ ス プ レ イ 展 示	8月31日～12月31日
火起こし道具 (10)	島根県教育センター	イ ベ ン ト	11月2日～11月5日
火起こし道具 (10)	久多美小学校	学 習 教 材	11月17日～11月27日
加茂岩倉銅鐸模鑄品ほか	東京事務所ほか	百 貨 店 で の 観 光 P R	12月27日～平成25年1月11日

(5) 施設利用

月 日	内 容	使 用 者
5月22日	赤外線撮影	松江市教育委員会
5月31日	赤外線撮影	邑南町教育委員会
9月2日	研修室利用	山陰考古学研究集会
10月1日	蛍光X線分析	邑南町教育委員会

(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会、発掘だよりなどの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的に、ホームページを運用している。

2012年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	1,342	1,157	1,409	1,482	1,429	1,137	1,165	1,125	1,050	965	1,283	958	14,502

Ⅲ 研修・調査指導事業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業(細事業下表)」、
「出雲国風土記の基礎研究(古代地域社会研究)」及びテーマ研究(細事業下表)について、以下の
とおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

項 目	H 24 年度の細事業	当センター担当者
考古資料基礎調査研究 事業：青銅器調査	① 三木資料整理・公開 ② 事業内容見直し	大庭俊次、守岡利栄
考古資料基礎調査研究 事業：墓制調査	① 風土記の丘地内古墳(魚見塚古 墳測量・東淵寺古墳トレンチ) ② 益田地区の古墳調査(鶴ノ鼻古 墳群測量、北長迫横穴墓群出土品 整理、金山古墳整理)	池淵俊一、宮本正保、勝部智明 稲田陽介
考古資料基礎調査研究 事業：生産遺跡調査	① 在地陶磁器集成 ② 県内製鉄遺跡集成	熱田貴保、宮本正保、東森 晋
考古資料基礎調査研究 事業：基礎資料調査	出土品再整理	池淵俊一、宮本正保、原田敏照、 東森晋、稲田陽介
出雲国風土記の基礎研 究：古代地域社会研究	風土記の丘地内の研究	池淵俊一、稲田陽介
テーマ研究	木製品から見る古代の暮らし	深田 浩
テーマ研究	縄文時代における山陰地域社会の展開	深田 浩、是田 敦
テーマ研究	日本海沿岸における潟湖の景観と生 業に関する研究	原田敏照
テーマ研究	前方後方墳と東西出雲の成立に関す る研究	池淵俊一
テーマ研究	離島隠岐に残る文化財の特質に関す る研究	林 健亮
テーマ研究	前方後方墳と東西出雲の成立に関す る研究	池淵 俊一

Ⅳ 研修・調査指導事業

1. 埋蔵文化財基礎研修

島根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者ま
たは初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は募集に対し市町村からの受講希望がなく、かつ
当センターにおいても対象者がなかったため実施しなかった。

2. 埋蔵文化財専門研修

島根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者等を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な高度な専
門知識や技術の習得を目的とした研修。

今年度は以下のとおり実施した。

【第1回】

日 時：平成24年6月15日（金）13：30～16：10

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：51名

内 容：近年刊行・刊行予定の発掘調査報告書について ほか

～複数年継続の発掘調査とその報告書作成の課題～

・報告「出雲市山持遺跡遺跡の発掘調査と報告書作成について」

東山信治氏（鳥根県教育庁文化財課）

・報告「松江市松江城下町遺跡の発掘調査と報告書作成について」

柚原恒平氏（松江市教育文化振興事業団）

・報告「埋文センター・古代出雲歴博の保存科学・分析備品について」

澤田正明氏（古代出雲歴史博物館）

・いにしえ倶楽部連続講座ダイジェスト講座

「鳥根県の中世遺跡について」 廣江耕史氏（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

【第2回】

日 時：平成24年9月5日（金）13：30～16：15

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：41名

内 容：遺跡・遺物の調査法 ほか

・講義「炭化種実の回収調査法」

住田 雅和

・報告「奈文研修復命報告：建築遺構調査課程」 中川 寧（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

・いにしえ倶楽部連続講座ダイジェスト講座

「山陰の木製品」

中川 寧（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

【第3回】

日 時：平成25年1月18日（金）13：30～16：00

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：48名

内 容：県文化財関係機関の調査研究事業について ほか

・講義「古代文化センター調査研究事業：テーマ研山陰の縄文時代と企画展」

柳浦俊一（鳥根県古代文化センター）

・講義「世界遺産室調査研究事業：テーマ別研究・最盛期石見銀山の復元」

目次謙一（鳥根県文化財課世界遺産室）

・講義「埋文センターが行う科学分析：赤色顔料について」

上山晶子（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

・報告「奈文研修復命報告：保存科学Ⅱ課程」 東森 晋（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

・いにしえ倶楽部連続講座ダイジェスト講座

「ここまでわかった！山代郷北新造院の屋根」 林 健亮（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

【第4回】

日 時：平成25年2月15日（金）13：30～16：20

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：56名

内 容：平成24年度に行った発掘調査の速報報告会 ほか

- ・報告「隠岐の島町隠岐国分寺跡の発掘調査」 野津哲志（隠岐の島町教育委員会）
- ・報告「松江市松江城下町遺跡の発掘調査」 秦 愛子（松江市教育文化振興事業団）
- ・報告「邑南町輪之内遺跡の発掘調査」 佐々木義彦（邑南町教育委員会）
- ・報告「大田市庵寺古墳群の発掘調査」 深田 浩（島根県埋蔵文化財調査センター）
- ・報告「松江市魚見塚古墳・東淵寺古墳の発掘調査」 池淵俊一（島根県埋蔵文化財調査センター）
- ・いにしえ倶楽部連続講座ダイジェスト講座
「島根県の古代・中世製鉄遺跡」 宮本正保（島根県埋蔵文化財調査センター）

3. 指導等

県内市町村教育委員会等の依頼を受けて行った。

月 日	依頼者	内容	派遣者
6月6日～ 6月28日	隠岐の島町教育委員会	隠岐国分寺発掘調査にかかる技術指導	中川 寧 東森 晋 稲田 陽介
7月17日	益田市教育委員会	山崎遺跡の縄文集落について	稲田 陽介
2月9日	隠岐の島町教育委員会	隠岐国分寺発掘調査にかかる技術指導	埋文センター職員 (隠岐の島町より担 当職員を受け入れ)

V 会議・講習会参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議及び研修会に参加した。

- (1) 総会 平成24年7月5日～6日 三重県伊勢市 伊勢シティーホテル
- (2) 中国・四国・九州ブロック会議 平成24年10月4日 岡山県岡山市 岡山市立オリエン
ト美術館
- (3) 研修会 欠席

文化庁が主催する埋蔵文化財担当職員等講習会に参加した。

- (1) 第1回講習会 平成24年9月5日～7日 広島県福山市 広島県立歴史博物館
- (2) 第2回講習会 平成25年2月5日～7日 東京都墨田区 東京都江戸東京博物館

Ⅵ 発掘調査事業

受託事業

平成24年度は4事業8遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は国直轄事業の一般国道9号(朝山大田道路)改築事業、一般国道9号(仁摩温泉津道路)改築事業、斐伊川水系大橋川河川改修事業、国道432号(大庭バイパス)改築事業で、道路建設3、河川改修1である。

大田市仁摩町に所在する庵寺古墳群では昨年度に引き続き調査を実施し、古墳時代前期末から中期にかけての古墳群と弥生時代中期末から後期の加工段状遺構を検出した。同市波根町の高原遺跡では古墳時代後期の土器が旧河道近くで大量に出土し、同市久手町の荒槇遺跡では古代の建物跡と中世墓が検出され、鈴見B遺跡では縄文時代から中世にかけての河道跡を確認した。

松江市矢田町の大橋川南岸に位置する官道下遺跡では古代の遺物が出土しており、その立地から出雲国庁から隠岐に通じる交通の要衝に位置する点で注目される。また大庭町の柳堀遺跡では旧河道から弥生時代、古墳時代、奈良時代、中世の各時期の遺物が出土した。

学術調査

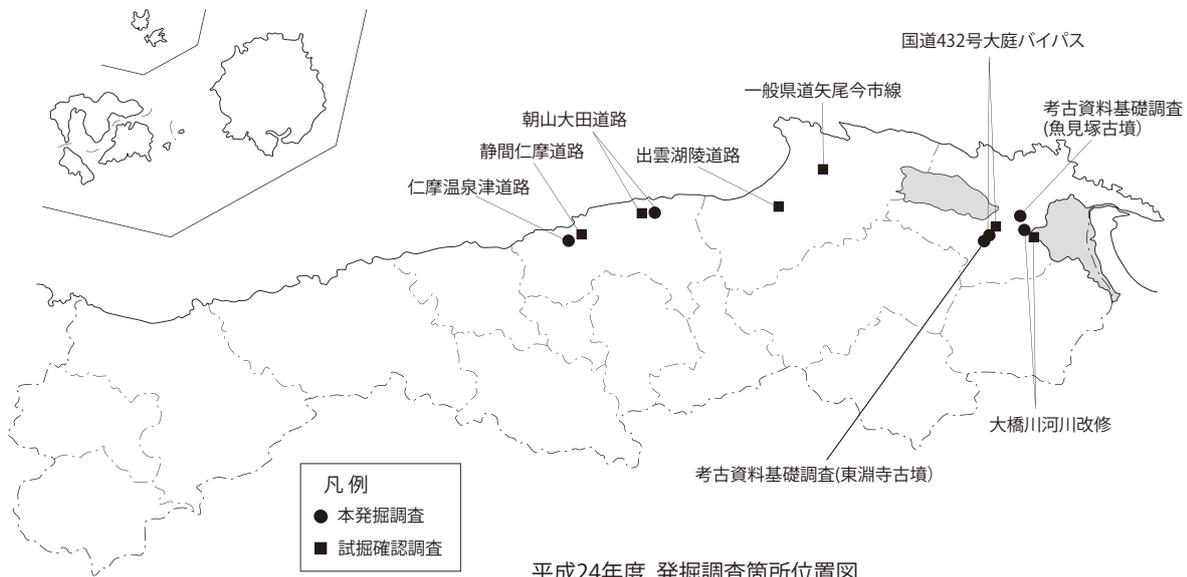
松江市大庭町の東淵寺古墳及び同朝酌町の魚見塚古墳で調査を実施した。前者では昨年度に引き続き墳形の確認を目的に調査を実施したが、前方後円形・前方後方形のいずれかを定める手ごかりは得られなかった。後者は62mの前方後円墳で、規模を把握するためのトレンチ調査を実施した。両古墳とも時期は6世紀後半の出雲型の須恵器子持壺が出土したが後者では埴輪は出土しなかった。

分布調査

今年度は大橋川河川改修事業、一般国道9号(三隅益田道路)改築事業、同(大田静間道路)改築事業、同(湖陵多岐道路)改築事業、浜田港港湾道路事業の各予定地で分布調査を実施した。

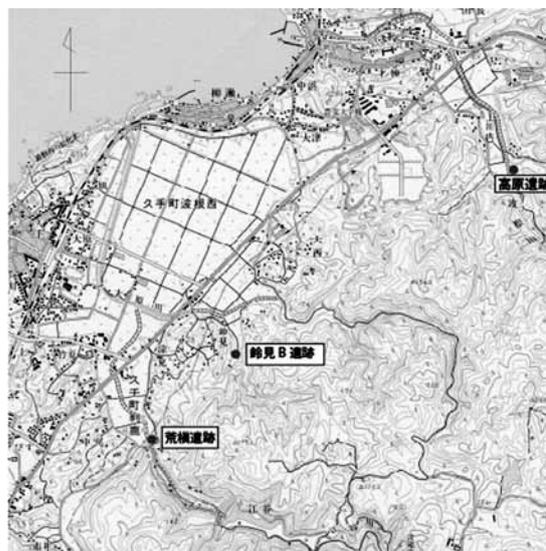
報告書作成

6事業8遺跡の調査報告書を作成した。(内訳はⅦ刊行物3.発掘調査報告書に掲載)



1. 一般国道9号(朝山大田道路)改築工事に伴う発掘調査

事業概要 この調査は、国土交通省から委託を受けて平成22年度より実施している。今年度は大田市久手町・波根町所在の荒槇遺跡、鈴見B遺跡、高原遺跡の発掘調査を実施した。



遺跡位置図 (1/50,000 石見大田)

荒槇遺跡

本遺跡は鳥根県大田市久手町刺鹿に所在する。日本海から直線距離で1.8 km離れた場所に位置し、標高10～15mの北西に面した丘陵と平坦地に立地する。西側には江谷川が南北に流れ、南東には中世の山城である岩山城がある。江谷川を挟んで西側には平成23年度に発掘調査を実施した門遺跡がある。

調査期間は平成24年5月21日～9月4日で、調査員2名と調査補助員1名の体制で実施した。調査面積は2,070㎡であった。調査は、調査地中央を縦断する市道涼見江谷線を挟んで、西側の平坦地1,080㎡を1区、東側の斜面990㎡を2区として調査した。

遺構は、1区では縄文時代から中世にかけての川跡を確認し、2区では中世の墓と考えられる井桁状の木枠を2基と古代の建物跡1棟を確認した。

遺物は土師器の甕、坏、高坏、土製支脚、甌、移動式竈、須恵器の坏、蓋、甕が多く出土した。その他に縄文土器、弥生土器、中近世の陶磁器も出土した。注目される遺物には、漆が付着した須恵器、赤色に塗布された土師器の坏がある。

まとめ 荒槇遺跡は縄文時代から中世の川跡と、古代の集落、中世の墓域で構成される遺跡である。1区の調査では、調査地が陸地化と河川化を何回も繰り返していることが判明し、この地域の景観を考えるための資料を得ることができた。また、2区で検出した中世の墓はこの地域での埋葬形態を考える上で貴重な発見となった。



荒槇遺跡全景 (右側が1区、左側が2区)



中世墓と考えられる井桁状の木枠

鈴見 B 遺跡

本遺跡は島根県大田市久手町波根西に所在する。日本海から直線距離で1 km離れた場所に位置し、標高7mの平坦地と標高11mの西向きの斜面に立地する。平坦地と斜面の間には水路があり、遺跡の北側を流れる大原川に流れている。

調査期間は平成24年8月28日～10月16日で、調査員2名と調査補助員1名の体制で実施した。調査面積は1,320㎡であった。



鈴見B遺跡全景(手前に遺跡、奥に日本海)

遺構は、弥生時代から中世の川跡を確認した。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、石器が出土した。

ま と め 弥生時代から中世までの遺物が出土したことから、周辺にそれらの時代の集落が営まれていたと考えられる。また、弥生時代から中世の川跡を確認したことで、地域の景観を考える資料を得ることができた。(是田 敦)

高原遺跡

本遺跡は大田市波根町上川内に所在する。出雲との境に接する大田市朝山町から波根川に続く小河川が形成した谷部に所在し、付近の標高は12 mほどである。平成24年度の調査区は、高原遺跡平成23年度調査区の東隣にあたる。

現地調査は平成24年5月21日～10月18日に、調査員1名、調査補助員2名の体制で実施した。調査面積は約2,500㎡であった。

調査では河道跡を発見したが、明確な遺構を検出することができなかった。

遺物には、縄文時代の石器や古代の土器、中近世の陶磁器類や古銭なども見られるが、中心は古墳時代である。古墳時代の遺物には、甕や土製支脚などの煮炊具、山陰系甌形土器の他、土錘なども含まれている。

ま と め 高原遺跡の今年度調査区は、近代以降に造成された可能性があり、明確な遺構を検出することはできなかった。しかし、古墳時代を中心とする大量の遺物の出土は、付近に当時の集落が開示していたことを示しており、旧波根湖南岸地域の歴史を考えていく上で貴重な資料を提供した。(林 健亮)



高原遺跡 調査状況

2. 一般国道9号(仁摩温泉津道路)改築工事に伴う発掘調査

調査概要 この調査は国土交通省松江国道工事事務所から委託を受けて実施しており、平成17年度より実施して以来8年目となる。今年度は、平成20年度及び平成23年度に続く庵寺古墳群と大迫ツリ遺跡、小釜野遺跡の調査を行った。

庵寺古墳群

本遺跡は大田市仁摩町大国に所在し、潮川左岸（河口から約2.2km上流）の標高60～80mの丘陵尾根上に立地する。本年度は昨年度調査区の東側に隣接する丘陵尾根上について調査を実施した。現地調査期間は平成24年6月19日～12月27日、調査面積は1,581㎡、調査体制は調査員2名と調査補助員1名である。

遺構の概要 調査の結果、最終的に尾根頂部から6基（20～25号墳）の古墳と多数の加工段状遺構が確認された。古墳については、墳丘の流出や後世の削平等によりすべての古墳の規模や構造、築造時期が明らかではないが、副葬品や周辺から出土した土器から、概ね前期末～中期を主体とした時期に築造されたと考えられる。主体部は、埋葬施設が箱式石棺（20・23・25号墳）と木棺（22・24号墳）を採用するものに分けられる。中でも22号墳は一辺約11mの方墳で、墳丘は現状で約1mの盛土により構築され、埋葬施設に長さ約3.5mの刳抜式木棺を直葬した痕跡を確認することができた。副葬品は、20号墳から滑石製白玉・緑色凝灰岩製管玉、22号墳から刀子、23号墳から刀子・滑石製勾玉が出土した。

加工段状遺構は17基（13～29号）検出され、出土土器から弥生時代中期末から後期初頭と考えられる。柱穴を伴うものと伴わないものがあり、後者は物置場や作業場、或いは見張り台的な機能が想定される。

まとめ 平成20・23年度の調査と併せ、丘陵尾根上に前～中期を主体とする多数の古墳（24基）が立地することを確認できた。その埋葬施設も石棺、木棺、壺棺など多様性に富んでいることも注目される。特に石見部ではこれだけの規模の前～中期古墳が調査された例は他に無く、これまで実態が不明瞭であった石東地域における古墳時代前半期の様相を解明する上で貴重な調査となった。また弥生時代の建物群等は、その立地状況から高地性集落と考えられ、当該期の集落の様相や社会情勢を検討する上で貴重な資料となった。（深田 浩）



庵寺古墳群位置図（1/25,000 仁万）



庵寺古墳群遠景

大迫ツリ遺跡／小釜野遺跡

両遺跡は大田市温泉津町福波に所在し、福光湾岸に面した谷筋奥の急峻な斜面に立地する。現地調査期間は、大迫ツリ遺跡が平成24年4月9日～4月19日、小釜野遺跡が4月24日～5月15日。調査面積は大迫ツリ遺跡が429㎡、小釜野遺跡が73㎡。調査体制は両遺跡とも調査員1名と調査補助員1名である。

遺構の概要 大迫ツリ遺跡では、丘陵斜面の岩盤から近世以降とみられる露天掘りの石切場を3基（1～3号採掘坑）と、石切場下方の岩盤から線刻画群が多数確認された。3基中最大規模の1号採掘坑は幅約8m、奥行き5.8m、高さ3.5mを測り、坑内には箱形の石材を“溝切り技法”

によって切り出した痕跡が階段状に残存する。また、採掘坑の下方から両側面にかけては作業の際の足掛かりとみられる浅い凹みが連続してみられ、両側面から上方にかけては雨水等の浸入を防ぐための溝が数条彫り込まれている。坑内からは、肥前系の磁器碗片が1点出土した。一方、線刻画群は採掘坑の東側下方に隣接して多数確認された。線刻は、判別できたものには石仏や顔の他、人名、地名、屋号、梵字状の刻み文字等が認められる。

小釜野遺跡は大迫ツリ遺跡と同じ谷筋の反対側斜面にあり、露天掘りの石切場跡を2基（1・2号採掘坑）確認した。出土遺物は無いが、その規模や形態、石材の採掘方法は、大迫ツリ遺跡の採掘坑と同様である。

まとめ「福光石」は建材や石造物等の資材として中近世に石見銀山をはじめ石見一円に供給され、現在も地域を代表する地場産業のひとつである。石切場についてはこれまであまり調査が行われずその実態も不明な点が多かったが、今回の調査により、その規模や形態、時期、採掘技術等を明らかにすることができた。また線刻画群については、石仏などの存在から石切工人集団の信仰や祭祀に関わる可能性も考えられ興味深い。（深田 浩）



遺跡位置図（1/25,000 浅利）



大迫ツリ遺跡1号採掘坑



大迫ツリ遺跡線刻画群

3. 大橋川河川改修事業に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、国土交通省出雲河川事務所から委託を受けて今年度から実施している。今年度は、開削及び築堤工事予定地となっている、松江市矢田町地内の官道下遺跡について発掘調査を実施した。現地調査期間は6月14日から12月26日、調査面積は860㎡、調査員1名、嘱託調査員1名、調査補助員1名の体制で実施した。



官道下遺跡位置図（1/25,000 松江）

官道下遺跡

遺跡は、大橋川南岸の矢田渡し東側、東光台丘陵と大橋川が最も近距離となる狭隘な平坦地に位置する。

平成22・23年度のトレンチ調査では、江戸後期以降の船着き場もしくは護岸施設とみられる石列や杭列・板組状遺構が検出されたのみであったが、当該地域は『出雲国風土記』記載の「朝酌促戸」に含まれ、結果次第では重要遺跡となり得ることから調査を行った。

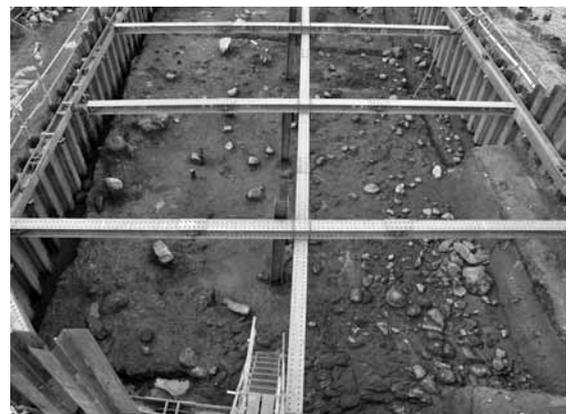
標高約2.2mの現地表面から1mあまりは造成土が堆積し、近世後半以降の包含層・砂礫層・基盤層（松江層）と続く。顕著な遺構は検出できなかったが、調査区東側の標高約0m付近では、幅約10m、深さ約0.6mを測る南から北へ向かう自然河道状の落ち込みを検出した。

埋土下部のシルト・砂層からは遺物が出土しており、ほとんどローリングを受けていないことから、比較的近距离から流され堆積したものと考えられる。遺物は須恵器（古代）・土師器・弥生土器・縄文土器（後期～晩期）などが出土している。なかでも、1点ではあるが丸瓦が出土している点は注意される。出土品の状況から、落ち込みが完全に埋没した時期は中世までは下らないと考えられる。

まとめ 今回の調査では当初期待された古代の遺構は確認できなかったが、東光台と井ノ奥の丘陵に挟まれた谷部から大橋川へ向かう自然河道状の落ち込みを検出した。これまでに実施した試掘調査の結果においても、谷部出口付近では湿地性の堆積が厚く遺構・遺物が確認されていないことから、古代のある時期までは当該付近が不安定な地勢であったと推定され、風土記時代の景観復元や交通を考える上で大きな成果が得られた。（勝部智明）



遺跡遠景（上空北より）



河道状落ち込み（南東より）

4. 国道432号改築事業(大庭バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査

調査概要 この調査は、県土木部道路建設課から委託を受けて実施しており、平成20年度から関連調査を実施して以来、5年目となる。今年度は、柳堀遺跡(本調査2年目)の調査を行った。



遺跡位置図(1/25,000 松江)

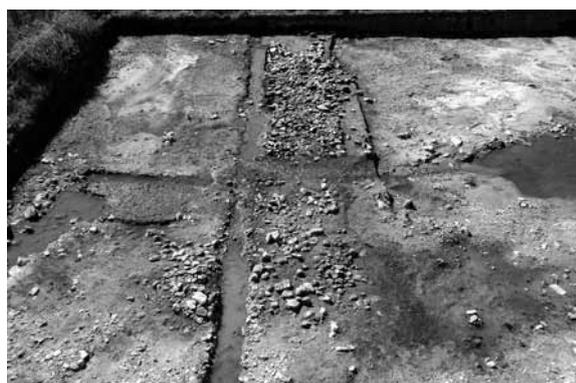
柳堀遺跡

本遺跡は、松江市大庭町に所在する水田地帯に立地している。付近には大庭鶏塚、東淵寺古墳や、山代郷正倉跡など著名な古墳や史跡がある。現地調査期間は、平成24年5月30日から平成24年10月26日まで、調査面積は1,600㎡で、調査員1名、調査補助員2名の体制で発掘調査を実施した。

柳堀遺跡では、国道用地内(今年度調査対象約100m区間)を南北に貫く自然河道の痕跡が検出された。北流して馬橋川に流入していたものと考えられる。河床は礫層で、ほとんどが流紋岩である。その検出位置は、最も深い地点で現地表から1.4mを測り、圃場整備された水田の下になっている。河道を埋めている覆土中からは、弥生時代前期から後期の土器片、また、磨製石斧や黒曜石の石核や剥片などの石器、古墳時代から中近世にかけての土師器、須恵器、陶磁器片などの土器、陶磁器類、建材や農工具、容器などの木製品など多様な遺物が出土している。また、調査区の南端では、東西に延びる石敷き構造の道路状遺構が検出された。幅約2m、石敷きの長さ約14mを測る。この遺構は、河道が埋められた後に作られたもので、石敷きから出土した遺物から近世以降のものと考えられる。さらに、H区では、調査区の北西隅に2条の溝状遺構あるいは、流路と考えられる遺構が検出された。SD14とSD15である。SD14は、幅約2.5m、長さ15m、深さ約20cmを測る。断面形は逆台形形で、人工的な流路と考えられる。古墳時代後期、6世紀後半ごろの須恵器や土師器、建材や曲物などの木製品が出土しており、遺構の時期を示していると考えられる。南西から北東へ流れている。SD15は、幅約1.3m、長さ10m、深さ20cmを測り、断面形は皿状を呈している。調査区内では北流する。遺物は出土していない。SD14とSD15には、調査区内においては切合い関係はない。

まとめ 自然河道が検出される低地ということもあり、集落本体にかかる顕著な遺構は検出されなかったが、古地形や近世以前の土地利用を考えるうえで貴重な資料を得ることができた。

(大庭俊次)



F区道路状遺構検出状況(東から)



FG区自然河道等発掘状況

5. 学術調査等

(1) 考古資料基礎調査研究（墓制調査事業）

東淵寺古墳

調査概要 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが共同で実施している研究事業「考古資料基礎調査研究」（墓制調査）の一環として実施しているもので、東淵寺古墳は昨年度からの継続調査となる。

発掘調査は、10月15日から開始し、12月1日に終了した。調査面積は約80㎡で、埋蔵文化財調査センターの職員を中心に、古代文化センターの職員の協力を得て実施した。

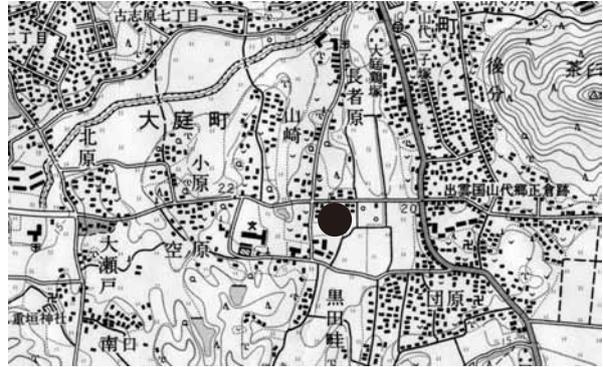
遺構の概要 東淵寺古墳は、松江市大庭町に所在する古墳で、過去の測量調査では全長約62mの前方後円墳と想定されている。今年度の発掘調査は、昨年度確定できなかった墳形の確認を目的とし、昨年度確認した、想定くびれ部墳裾ラインを追跡するため、昨年度T2の南側に広く調査区を設け、T3と呼称した。

墳丘の盛土は、標高19.5m付近から上位に認められる。段築の有無は不明だが、盛土レベルから判断して下段は地山削り出し、上段は盛土によって構築されていた可能性が高い。盛土は、クロボク土と黄褐色地山との互層によって構築され、いわゆる土堤状盛土と呼ばれるものである。検出した墳端ラインは現状ではほぼ直線状を呈するが、墳端付近は崩壊していて不明瞭であり、今後のさらなる検討が必要である。なお、昨年度くびれ部と判断していた屈曲部は、精査の結果流土と判断され、従って現段階では墳丘については前方部が取り付くか否かについても判断できない。周溝はマンガンバンド上面を周溝底面とし、下層に初期流入土である暗オリーブ色土、上層に黒褐色土が堆積し、遺物は上層から多量に出土している。

遺物の概要 出土遺物は、埴輪・須恵器・陶磁器などが出土した。特に埴輪と須恵器は比較的まとまって出土している。須恵器は出雲型子持壺が主体で、団原古墳出土例に近い。

まとめ 今年度の調査では、墳端は確認できたもののくびれ部は検出できず、また調査範囲内だけでは墳端が弧か直線かも判断できない状況であった。次年度以降の調査により早急に墳形の確定が望まれる。

（池淵 俊一）



東淵寺古墳の位置 (S=1/25,000 松江)



東淵寺古墳近景（西より）



T3（左が墳丘側）

魚見塚古墳

調査概要 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが共同で実施している研究事業「考古資料基礎調査研究」（墓制調査）の一環として実施しているもので、魚見塚古墳は今年度からの調査となる。

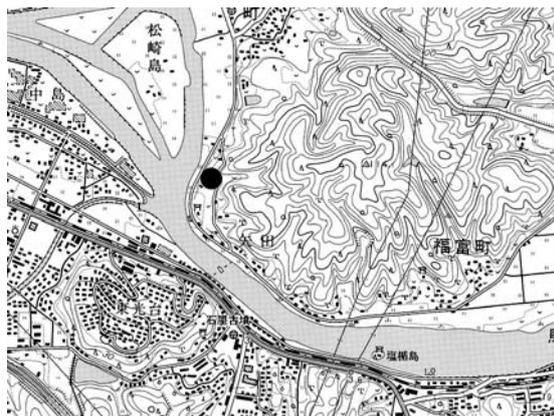
発掘調査は、6月5日から開始し、7月31日に終了した。調査面積は約56㎡で、埋蔵文化財調査センターの職員を中心に、古代文化センターの職員の協力を得て実施した。

遺構の概要 魚見塚古墳は、松江市朝酌町に

所在する古墳で、過去の測量調査では全長約62mの前方後円墳と想定されている。今年度の発掘調査は、周溝の有無や墳丘規模の確定を目的として、後円部東側と南側にT1・T2を設定し、調査を実施した。後円部東側に設定したT1では表土直下で地山を検出し、当古墳には周溝が伴わないことが判明した。また、墳端についてもトレンチ内では明瞭な痕跡は確認できず、後世の削平により墳裾付近は失われてしまったと想定される。T2もT1と同様に墳裾付近は近世の畑・里道によりかなり削平を受けており、明確な墳端は確認できなかった。墳丘下段の平坦部では、表土下の灰褐色土中より子持壺を中心とする須恵器がまとまって出土した。この平坦部は、陶磁器の出土から近世の里道と考えられるが、墳丘段築を反映している可能性も考慮される。なお、当トレンチでは一部断ち割り調査を実施し、後円部の上半部は盛土、下半部は地山削り出しによって築造されていることが判明した。

遺物の概要 出土遺物は、須恵器・陶磁器などがコンテナ5箱分出土した。須恵器は出雲型子持壺が主体で、対岸の手間古墳出土例に類似する。また、埴輪が出土していない点も注目される。

まとめ 今年度の調査では、後世の削平により墳端は確認できなかったものの、周溝が存在しない点や墳丘上半部が盛土で構築されている点、手間古墳例と類似する須恵器子持壺が出土する一方、埴輪が伴わないなど、重要な知見が得られた。ただ、正確な墳丘形態や規模、埋葬施設の形状など未だ不明な点は多く、その解明が今後の調査の課題である。 (池淵 俊一)



魚見塚古墳の位置 (S=1/25,000 松江)



魚見塚古墳近景 (北東より)



T2 須恵器出土状況

(2) 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）

今年度から着手した事業で、過去に県教育委員会が発掘調査を実施して現在当センターで収蔵している出土品のうち、報告書に掲載されていない遺物を中心に再整理を実施し、その内容を明らかにするとともに、一般市民が容易に利用できるよう、データベース化をはかることを目的として実施するものである。

今年度は、現在古代文化センターが実施中の「テーマ研究事業：前方後方墳と東西出雲の成立」にあわせ、松江市意宇平野の集落遺跡の解明を目的とし、その第一段として夫敷遺跡・布田遺跡の再整理を行った。出土品については、現在の調査研究水準に基づき、過去の出土品総てを対象として、細片一片に至るまで種別・時代別に再分類し、重量を計測して定量的把握を行うとともに、写真撮影を実施し、データベースを作成した。また、非掲載遺物でも重要と思われる資料については実測を行った。遺構については調査原図の再検討を行い、今日的視点からの再評価を試みた。

今年度の整理作業の結果、夫敷遺跡については、全遺物について定量的把握が完了し、遺跡の時期別推移を定量的に把握することができたとともに、非掲載遺物中からは韓式土器をはじめとする重要遺物を確認することができた。また、遺構については、調査区内で検出された意宇川河道や2面の水田遺構等について、年代および水利的検討を加え、意宇平野開発史を考える上で重要な知見が得られた。

（池淵 俊一）

(3) 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水浸けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。

水浸け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール（PEG）と糖アルコールでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行っている。処理後の遺物は温湿度管理で保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影・蛍光X線分析に関しては、センターの調査現場、報告書作成、保存処理での活用の他に、市町村教育委員会・大学等を対象とした撮影・分析も行っている。

平成 24 年度 作業実績

飯南町森遺跡出土鉄製品に保存処理を施し、平成 23 年度から継続している木製品の保存処理のうち大田市川向遺跡出土品の一部とあわせて、古代出雲歴史博物館で開催される企画展に出品したほか、糖アルコール含浸槽から山持遺跡、東前田遺跡、三田谷遺跡などの木製品を引き上げ、仕上げ工程を行った。平成 24 年度新規の作業では、外部への貸出に対応するため姫原西遺跡出土無文銭西川津遺跡で出土した編物について保存処理をした。

中尾 H 遺跡、出雲国府跡出土赤色顔料付着遺物、西川津遺跡出土ガラス勾玉、邑南町輪之内遺跡出土赤色顔料、大田市石見銀山遺跡出土遺物について報告書作成にともなって蛍光 X 線分析を行なった。

（澤田正明・上山晶子）

(4) 試掘確認調査・分布調査

国庫補助事業として以下のとおり実施した。

(1) 平成 24 年度確認調査

計画事業名	遺跡名	所在	現地調査期間	実施した調査 () は対象面積
一般国道9号 (出雲・湖陵道路) 改築事業予定地	柳ノ内Ⅱ遺跡	出雲市知井宮町2464 外	5月28日～7月3日	トレンチ10カ所
	要注意箇所(③・④)	出雲市知井宮町2499-1 外	8月17日～10月11日	トレンチ6カ所
一般国道9号 (朝山・大田道路) 改築事業予定地	竹原遺跡	大田市朝山町竹原1609 外	11月20日～12月14日	トレンチ計60㎡ (11000㎡)
	紙屋遺跡	大田市朝山町竹原1621 外	12月3日～12月14日	トレンチ計100㎡ (10700㎡)"
	要注意箇所(古道)	大田市朝山町竹原～波根町 上川内、里道 外	11月14日～12月14日	トレンチ計40㎡ (15600㎡)
	旭山遺跡	大田市波根町上河内314- 1 外	10月29日～11月27日	トレンチ計70㎡ (7400㎡)
	高原遺跡	大田市波根町上河内365 外	10月22日～11月14日	トレンチ計70㎡ (2241㎡)
	鈴見B遺跡	大田市久手町波根西	12月3日～12月21日	トレンチ計90㎡ (3500㎡)
一般国道9号 (静間・仁摩道路) 改築事業予定地	古屋敷遺跡	大田市仁摩町大国	5月27日～6月1日・ 10月28日～11月16日	トレンチ35カ所 (15000㎡)
	城ノ内遺跡	大田市仁摩町宅野	11月15日～11月30日	トレンチ3カ所 (360㎡)
大橋川河川改修 事業及び市道西 津田馬潟港線改 良事業予定地	要注意箇所	松江市矢田町字灘	9月24日～9月26日	9㎡ (800㎡)
国道432号大庭 バイパス改築事 業予定地	茶臼遺跡	松江市大庭町	1月28日～2月15日	トレンチ3カ所
県道矢尾今市線 改築事業予定地	下澤遺跡	出雲市矢尾町字中沢	11月15日～11月28日	トレンチ4カ所

(2) 平成 24 年度詳細分布調査

計画事業名	調査地	現地調査期間
大橋川河川改修 事業地	松江市福富町～矢田町 外	平成24年11月～12月
一般国道9号 (三隅・益田道路) 改築事業予定地	浜田市三隅町三隅～益田市遠田町	平成25年2月
一般国道9号 (大田・静間道路) 改築事業予定地	大田市久手町刺鹿～久手町	平成25年3月
一般国道9号 (湖陵・多伎道路) 改築事業予定地	出雲市湖陵町三部～多伎町久村	平成25年3月
浜田港福井地区 臨海道路整備事 業予定地	浜田市熱田町	平成25年3月

Ⅶ 県内発掘調査一覧

市町村など（＊平成23年12月29日～平成24年12月28日に通知のあったもの）

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積(m ²)	発掘予定 期 間	
1	その他の遺跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町 鷲原字溝片河口 312番地1	津和野町教育委員会 中井将胤	4	240116- 240131	個人住宅
2	その他の遺跡	松江城下町遺跡 (殿町250)	松江市殿町250番	松江市教育委員会 徳永 隆	3	240201- 240210	その他開発 (大型ののぼり基礎設置)
3	集落跡	輪之内遺跡	邑智郡邑南町下口羽 485番地1ほか	邑南町教育委員会 佐々木義彦	400	240402- 240629	その他の建物 (保育所)
4	集落跡	山代沖田遺跡	松江市山代町364 番外5筆	松江市教育委員会 江川幸子	361	240403- 240427	道路
5	その他の遺跡	松江城下町遺跡(母衣町68)	松江市母衣町 68番地	松江市教育委員会 秦 愛子	2,674	240409- 241031	その他の建物 (裁判所新築)
6	その他の遺跡	松江城下町遺跡(母衣町44外)	松江市母衣町44, 44-1,44-2,45-3	松江市教育委員会 廣濱貴子	241	240423- 240731	道路
7	城館跡	三沢城跡	仁多郡奥出雲町 三沢1833番13	奥出雲町教育委員会 高尾昭浩	3	240514- 240531	その他の建物 (鉄塔)
8	城館跡	松江城	松江市殿町1番地	松江市教育委員会 川上昭一	5	240605- 240608	遺跡整備
9	社寺跡	鱒淵寺	出雲市別所町148 番地	出雲市 石原 聡	100	240601- 240930	保存目的の 範囲内容確 認調査
10	散布地	三軒屋遺跡	松江市竹矢町 字丁ヶ坪600番	松江市教育委員会 赤澤秀則	3	240612- 240612	ガス・水道・ 電気
11	城館跡	松江城	松江市殿町1-13外	松江市教育委員会 徳永 隆	6 (最大30)	240625- 240629	その他開発 (園路の補 修工事)
12	その他の遺跡	松江城下町遺跡(南田町130-6外)	松江市南田町 130-6,130-8,130-9	松江市教育委員会 徳永桃代	280	240702- 241228	道路
13	社寺跡	隠岐国分寺 周辺遺跡	隠岐郡隠岐の島町 池田風呂前5	隠岐の島町教育委員会 野津哲志	150	240514- 241130	その他の建物 (社寺等)
14	その他の遺跡	松江城下町遺跡(殿町250)	松江市殿町250番	松江市教育委員会 川上昭一	5	240628- 40629	その他の建物 (記念館)

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
15	城館跡	高瀬山城跡	雲南市三刀屋町多久和2502-35	雲南市教育委員会 高橋誠二	150	240709-241031	その他の建物(無線局建設)
16	その他遺跡	松江城下町遺跡(母衣町127-2, 128,198-1)	松江市母衣町127-2, 128,198-1	松江市教育委員会 小山泰生	1,118.5	240712-241228	その他の建物(病院関連棟)
17	古墳	廻原1号墳	松江市朝酌町1166	島根大学法文学部 考古学研究室 岩本 崇	9.75	240903-240928	学術研究
18	横穴墓	上塩冶横穴墓群	出雲市上塩冶町2985-1番地他	出雲市 原 賢二	2,500	240801-250331	道路
19	城館跡	松江城	松江市殿町1番地	松江市教育委員会 川上昭一	32.5	240813-240831	遺跡整備
20	散布地	明ヶ谷遺跡	松江市島根町野波字本木2313番地3外	松江市教育委員会 赤澤秀則	18	240809-240810	その他の建物(福祉施設)
21	集落跡	山代沖田遺跡	松江市山代町363-1,364,365	松江市教育委員会 廣濱貴子	276.17	240806-240928	道路
22	散布地横穴墓	杉沢Ⅰ遺跡 杉沢Ⅱ遺跡 三井Ⅱ遺跡	出雲市斐川町直江835番地4ほか	出雲市 景山真二	60,000	240501-250331	その他開発(工業団地造成)
23	その他の遺跡	松江城下町遺跡(奥谷町116-2)	松江市奥谷町116番2	松江市教育委員会 徳永 隆	82.5	240816-240831	宅地造成
24	その他の遺跡	松江城下町遺跡(南田町137-13外)	松江市南田町137-8,147-11,127-12,137-13	松江市教育委員会 徳永桃代	191	240913-250131	道路
25	城館跡	松江城	松江市殿町1番45,1番59,1番64,1番66	松江市教育委員会 赤澤秀則	最大125	240926-241030	その他開発(下水配管、障がい者用エレベーター)
26	生産遺跡	久喜精錬所跡	邑智郡邑南町久喜1713-3及び邑智郡邑南町久喜444地内	邑南町教育委員会 角矢永嗣	350	241001-250329	遺跡整備
27	官衙跡	後谷遺跡	出雲市斐川町出西2049-1	出雲市 宍道年弘	88	241001-241031	その他農業関係
28	その他の遺跡	松江城下町遺跡(奥谷町116-2)	松江市奥谷町116番2	松江市教育委員会 赤澤秀則	36	241004-241005	個人住宅

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
29	その他の遺跡	松江城下町遺跡(殿町198-2外)	松江市殿町198-2, 198-4, 198-5, 198-8, 198-10	松江市教育委員会 廣濱貴子	180	241101-250329	道路
30	生産遺跡	石見銀山遺跡	大田市大森町ホ381番地 大田市大森町ホ368番地	大田市教育委員会 野島智実	500	240918-250330	保存目的の範囲内容確認調査
31	散布地	柳堀遺跡	松江市大庭町738-1, 138-2, 739-1	松江市教育委員会 落合昭久	1,200	241105-250331	土地区画整理
32	その他の遺跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町後田炉610番	津和野町教育委員会 中井將胤	4	241105-241130	個人住宅
33	社寺跡	洞光寺跡	安来市広瀬長町帳786	安来市教育委員会 舟木 聡	50	241213-250331	保存目的の範囲内容確認調査

県 (*平成23年12月29日～平成24年12月28日に通知のあったもの)

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
1	散布地	荒楨遺跡	大田市久手町刺鹿1979-1外	是田 敦	1,800	240521-240907	道路(一般国道9号朝山大田道路)
2	散布地	高原遺跡	大田市波根町上川内364ほか	林 健亮	2,400	240521-241026	道路(一般国道9号朝山大田道路)
3	散布地	柳堀遺跡	松江市大庭町745-1ほか	大庭俊次	1,600	240601-241031	道路(国道432号大庭バイパス)
4	古墳	魚見塚古墳	松江市朝酌町960-1	池淵俊一	30	240601-240731	学術研究
5	集落跡	古屋敷遺跡	大田市仁摩町大国字古屋敷	深田 浩	100	240528-240615	道路(一般国道9号静間仁摩道路)
6	集落跡	庵寺古墳群	大田市仁摩町大国3150-2ほか	深田 浩	1,700	240625-251228	道路(一般国道9号仁摩温泉津道路)
7	その他の遺跡	官道下遺跡	松江市矢田町428-1ほか	勝部智明	978	240611-241228	河川(斐伊川水系大橋川河川改修)
8	生産遺跡	大迫ツリ遺跡	大田市温泉津町福波大字福光ハ1578	深田 浩	500	240409-240419	道路(一般国道9号仁摩温泉津道路)
9	生産遺跡	小釜野遺跡	大田市温泉津町福波大字福光ハ608-6	深田 浩	500	240424-240515	道路(一般国道9号仁摩温泉津道路)

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積 (m ²)	発 掘 予 定期間	
10	その他の墓	石見銀山遺跡本経寺墓地	大田市大森町ホ103,ホ281-3,ホ281-4,ホ289-4	岩橋孝典	50	240618-240831	保存目的の範囲内容確認調査 その他の建物(落石対策施設)
11	散布地	鈴見B遺跡	大田市久手町波根西1149-2外	是田 敦	1,700	240903-241216	道路(一般国道9号朝山大田道路)
12	古墳	東淵寺古墳	松江市大庭町 792-3	池淵俊一	30	241015-241130	学術研究
13	散布地	高原遺跡	大田市波根町上川内ほか	林 健亮	150	241022-241102	道路(一般国道9号朝山大田道路)
14	城館跡横穴墓	旭山遺跡	大田市波根町上川内ほか	林 健亮	150	241105-241130	道路(一般国道9号朝山大田道路)
15	集落跡	古屋敷遺跡	大田市仁摩町大国126 ほか	是田 敦	200	241025-241116	道路(一般国道9号静間仁摩道路)
16	その他の遺跡(水田跡)	下澤遺跡	出雲市矢尾町字中沢452番1ほか	大庭俊次	30	241115-241122	道路 (県道矢尾今市線)
17	集落跡	鈴見B遺跡	大田市久手町波根西2515-11 外	是田 敦	100	241126-241221	道路(一般国道9号朝山大田道路)
18	その他の墓	城乃内遺跡	大田市仁摩町宅野895-2,895-3	伊藤 智	30	241115-241130	道路(一般国道9号静間仁摩道路)

Ⅷ 刊 行 物

1. 埋蔵文化財調査センター年報 21

平成 25 年 3 月刊行。発行部数 395 部

2. ドキ土器まいぶん（鳥根県の埋蔵文化財情報誌）

名 称	発 行 月	部 数	内 容
ドキ土器まいぶん No.54	平成 25 年 3 月	10,000	平成 24 年度に実施した発掘調査、活用事業報告 まいぶん出土遺物カードなど

3. 発掘調査報告書

報 告 書 名	部数	編集担当者	遺 跡 の 概 要
下澤遺跡 国道 431 号道路改築事業（東林 木バイパス）に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書 11	260	熱田貴保	下澤遺跡では古墳時代から奈良時代の水 田遺構が 3 面検出された。扇状地の土石 流に覆われており、小規模な水田区画が 不規則に配置されている様子が確認され た。
粟目 I 遺跡 粟目 II 遺跡 中国横断自動車道尾道松江線建 設予定地内埋蔵文化財発掘調査 報告書 21	257	宮本正保	粟目 I 遺跡では、古墳時代後期～奈良時 代の集落と製鉄遺構を確認。粟目 II 遺跡 では弥生時代後期及び古墳時代中期～奈 良時代の集落を検出。吉田川流域で弥生 時代～奈良時代の集落の検出は初例。
主要地方道松江鳥根線改築工事 に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 書 2 西川津遺跡・古屋敷 II 遺跡	268	原田敏照	松江市西川津町に所在する西川津遺跡 (鶴場地区)では、弥生時代を中心とす る遺構・遺物を、古屋敷 II 遺跡では平安 時代の集落を確認した。その中でも西川 津遺跡で検出した弥生時代前期と後期の 大溝は、環壕の可能性があり注目される。 前期の大溝からは木製壺型容器、トチノ ミ、炭化米が、後期の溝からは J 字形 ガラス勾玉、木製組み合せ容器が、多く の土器とともに出土した。また、弥生時 代の自然河道も確認され、前期の木製農 具未製品、漆液容器、ウルシ材が多く 出土しており、集落における木製品や漆 製品の製作の一端が明らかとなった。今 回の西川津遺跡の調査成果は、これまで の河川改修に伴う調査では不明確であ った集落本体の様相を初めて明らかとする ものであり重要である。
一般国道 9 号（多伎朝山道路） 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘 調査報告書	255	内田律雄	菅沢遺跡は古代～近世に至る谷状地形を 利用した道路状遺構で、縄文時代～近世 までの遺物が出土した。その他、滝が谷・ 赤谷・丸尾・朝倉・東城蓮城・上谷の 6 遺跡のついて遺構有無の確認調査を行 い、遺物包含層を確認した。

報 告 書 名	部数	編集担当者	編集担当者
一般国道9号（朝山大田道路） 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘 調査報告書1	255	内田律雄	門遺跡は奈良・平安時代の集落跡で、住居跡と考えられる加工段と溝状遺構、高原遺跡と中尾H遺跡は奈良平安時代の集落跡で、木簡が出土した。中尾H遺跡からは縄文時代後期の石組遺構が検出された。
史跡出雲国府跡-8-	500	稲田陽介	遺跡の概要：国司館の区画溝および国庁進入路の位置を探る目的で調査を行なった。その結果、国司館の西辺を区画する溝や10世紀の井戸、地業関係の遺構が確認された。また国司館の東側に新たな区画溝も検出された。遺物は古代の須恵器、土師器の他、墨書土器、緑釉陶器、水銀朱の付着した東海系山茶碗などが出土している。

4. 発掘調査パンフレット

名 称	発行部数	概 要
山持遺跡	6,000	出雲市にある山持遺跡の発掘調査の成果を分かりやすく紹介したパンフレット。A4 カラー 16P。
金山古墳	5,000	益田市金山古墳について紹介。A4 カラー 8P。

5. 発掘調査だより（各事務所発行）

名 称	事 業 名	発 行 月	部数	配 布 先
ほるーと9	朝山大田道路	4月、7月、10月	532	地元小中学校・地元高校・公民館・教育委員会など
なきすな街道	仁摩・温泉津道路	11月	483	地元小中学校・地元高校・自治会・公民館・図書館・教育委員会など

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報21

発行日 2013年3月29日

編集・発行 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
松江市打出町33番地

Tel. 0852-36-8608

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

Eメール maibun@pref.shimane.lg.jp

印刷 (有) 松本印刷

本文はR100再生紙を利用しています。